



すだれ作りに挑戦する前田小の児童

古い道具に触れ昔の生活を体験
前田小学校4年生 体験学習
 前田小学校の4年生の児童16人が社会科の学習で昔の生活で使われていた道具類を見たり、触れたりして当時の暮らしを体験する授業が9月28日、市構造改善センターで行われました。
 集まった物は、主に大正から昭和30年代にかけて農作業や山仕事などで使われていた「千歯抜き」や「のこぎり」、「そり」などの古民具や道具類。今では貴重な「はたおり機」もあり、指導の先生から説明を受けながら、実際に使ってみました。
 全員で行った「簾（すだれ）作り」では「すごく楽しい。最後まで作ってみたい」などの声も聞かれ、当時の生活に触れることができた、有意義な時間となりました。

高齢者宅訪問し交通安全をPR
森吉地区交通安全母の会
 交通安全母の会森吉地区が秋の全国交通安全運動の期間中、ドライバーへの安全運転と高齢者宅を訪問して交通安全のPR活動を行いました。
 9月22日には、大野岱地内の国道105号でチラシや眠気防止の「注意んガム」等をドライバーに手渡し交通事故防止を呼びかけました。また27日は同市学校通り・本城地区の高齢者世帯を訪問し、「交通事故に遭わないように気を付けて歩行してください」とチラシや反射板等を直接手渡しました。訪問した高齢者からも「交通事故に遭わないように十分に気をつけます。ご苦労さまです。」と励まされながら約130世帯を訪問し、交通安全を呼びかけました。



交通事故に遭わないようにと声をかける会員



グラウンドゴルフで親睦を深める参加者

グラウンドゴルフで交流深める
第1回内陸線グラウンド・ゴルフ交流大会
 秋田内陸線再生支援協議会主催の「第1回秋田内陸線グラウンド・ゴルフ交流大会」が9月27日、阿仁遊遊ガーデンで、内陸線沿線から男女218名が参加して行われました。
 この交流会は「秋田内陸線の利用を通じて、沿線市村のグラウンド・ゴルフ愛好者の健康増進、他クラブとの交流による仲間づくり」を目的に開催。参加者は雨天の中、雨具を着て対戦相手の足下を気遣いながら、32組に別れ24ホールを黙々と打数を競い合うとともに交流を深めました。
 当日は、阿仁またぎ駅は参加者の乗り降りで賑わい、まさに、内陸線乗車利用促進運動の一環となりました。



全国植樹祭成功に向け設立した実行委員会

成功に向け地域一丸に
全国植樹祭 市実行委員会設立総会
 平成20年春に県立北秋の杜公園で開催される第59回全国植樹祭に向けて市実行委員会の設立総会が10月4日、交流センターで行われ、市内各種団体の代表者ら約60人が参加し、成功に向けて地域一丸となった取り組みを推進することを確認しました。
 同植樹祭は「手をつなごう森と水とわたしたち」をテーマに、20年5月下旬から6月上旬の日曜に開催。天皇后両陛下をお迎えし、記念式典や植樹を行い、1万人以上が参加する国土緑化運動の中心となる全国行事。
 岸部市長は「植樹祭の開催は先人が守り育ててきた自然のおかげ。全国に市の魅力を発信するいい機会。市民一丸となった取り組みで成功させたい」と述べました。

明るい社会づくりへ
鷹巣ライオンズクラブ学習ノート寄付
 鷹巣ライオンズクラブの吉田豊会長が、9月26日、市役所を訪れ、青少年に使用してほしいと、学習ノート300冊を寄付しました。
 同クラブは、世界及び地域社会で、困っている人の重荷を軽くする使命を持って奉仕活動を行っている団体で、昭和43年6月に認証・結成され、現在会員は21名。主な活動は中央公園内ライオンズの森整備／高齢者宅の除雪奉仕／バザー収益金のアイヘルズ支援／大規模災害時の募金活動／姉妹クラブとの児童交流事業を行っています。
 寄付を受けた岸部市長は「生徒たちにとって大変ありがたい物。社会を明るくする運動で大事に使わせていただく」と感謝の言葉を述べました。



吉田会長から学習ノートを受け取る岸部市長



30周年を迎え記念すべき日となった芸文祭

芸術の秋を目で耳で楽しんで
第18回合川芸文祭
 北秋田市芸術文化協会合川支部の第18回合川芸文祭が9月24日、合川農村環境改善センターで開催されました。
 開会で佐藤素子支部長が「芸文協30周年を迎えるの記念すべき芸文祭。親睦と健康と楽しくをモットーに引き続き活動したい」とあいさつ。展示の部では3団体が、俳句や生け花、陶芸の作品を展示、演示の部では11団体が、太鼓や舞踊、民謡、体操、吹奏楽などを披露しました。
 また、芸文協創立30周年記念として、バイオリン奏者の松尾沙樹さんと、ピアノ奏者の渡部秋子さんが特別出演し「川の流れのように」や「赤とんぼ」等の曲が演奏されました。